



雛人形を座敷いっぱい飾っています

梅林の紅梅白梅が咲き始めた2月上旬、ふじやま公園古民家では女の子の健やかな成長を願う、雛人形を主屋座敷いっぱい飾っています。江戸時代後期嘉永年間お嫁入と一緒に持ってきた御殿雛、戦前期の彷彿させる木製に段飾り、高度成長期の華やかな段飾り等々、20組以上が飾られ、華やかな雰囲気をかもしだしています。飾り方は女雛と男雛に位置関係、人形の顔立ち、三人官女の着物、調度類の模様などいろいろと変化しています。見比べてください。



雛祭りは上巳の節供が由来するといわれています。これは三月の初めの巳の日に川に入って身体の穢れを祓う禊の儀式に始まります。自分が川に入るのではなく人形(ヒトガタ)に穢れや疫病、災いを移して川や海に流す形になり(流しびな)、更に枕元に飾るようになりやがて現在の形になりました。



毎年、雛人形の見物に幼稚園児や高齢者の関連施設の皆さんのほか、今年は外国のお客様も多数来園されます。お待ちしております。

雛人形が飾られた古民家で呈茶会を行います。

日時：3月3日(日) 11時～15時

場所：古民家主屋

定員：先着30名 お茶席券：300円



ふじやま公園が開園したとき以来の事業に体験教室がある。ボランティア会員が講師になって、鎌倉彫や植物画、布ぞうり作りなどの教室を開いたのだが、近年講座内容が様変わりしている。講師を務めた人たちの高齢化というのも理由の一つだが、世間の人たちの趣味の変化も大きいようだ。レザークラフト、こけ玉、絵手紙…さて次はどんな教室が開かれるのか、楽しみだ。

公園あれこれ

◆古民家で消火訓練～文化財防火デー～

文化財防火デーの1月26日、古民家主屋で栄消防署と共同で消火訓練が行われました。消防署員とスタッフが、火災発生から119番通報、来園者の誘導、ドレンチャー放水・・・などで鎮火するまでの訓練を行い、慣れないホースさばきに苦労しました。最後に「文化財の保護にご協力ください」との署長の訓話がありました。



小中学生がたくさんやって来ました

ふじやま公園には古民家だけでなく、古い道具類や、炭焼き窯などちよっと他では見られないものがあります。その珍しいものを使って、小学生3年生は社会科の「昔の道具 昔の暮らし」の授業をするほか、炭焼き体験の小中学校もあります。昔の暮らしと言っても、古民家ほど昔ではなく昭和30年代です。1、2月で笠間小、桜井小など13校がやって来ました。



昔の道具 藁縄(わらなわ)

縄は植物の茎や繊維をより合わせて細長く伸ばしたもので、縛る、繋ぐ、吊す、あるいは運搬(提げる、担ぐ、背負う)などに用いる生活道具です。形態的には、紐より太く綱より細いものが目安になります。素材的には、縄とは稲藁を作った藁縄を指すことが一般的です

合成繊維が一般化する1960年代以前、藁縄は荷造用材、帯、襷(たすき)、履き物、井戸のつるべ、たわし、椅子(いす)、簾、馬具、塗り壁に混ぜる補強材、籠、袋などと多くの道具に形を変えて、広く利用されました。藁縄はそのままで道具または道具の材料として、どこでも目にする事が出来ました。

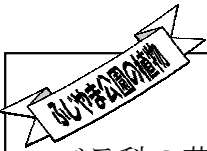


藁縄の原料である藁は熟した稲の茎を乾かしたもので、多くの加工品があり、その中で藁縄は最多量産品でした。伝統的には農作業の余業として夜間、農閑期(冬期)に他の藁加工品とともに自給してしていました。縄ないの機械化は明治後期に始まり、昭和20年後期には動力式製縄機が登場し、藁縄がより広く用いられるのに寄与しました。古民家納屋に足踏み式縄ない機があります。

★ そば班特製の手打ちそばをどうぞ！10人限定で400円



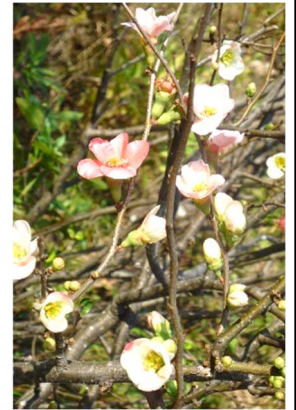
ふじやま公園そば研究班のメンバーが、日ごろの研さんの成果を来園者の皆様に味わっていただきたいと、昨年の手打ちそばを食べる会を、形を変えて今年も実施します。2月23日(土)正午から先着10名様に限り1人前400円で提供します。公園主屋エリアの工作棟で。2か月に1度行う予定で、次回は4月27日です。



ボケ 木瓜

バラ科の落葉低木で、平安時代に中国から渡来してきたといわれ、2月～3月にかけて白、赤、ピンクなどの花をつける。庭木や生け垣などとして植えられることが多く、切り花として、観賞用にも用いられる。名前を聞くと何故?という感じがするが、その名の由来は、果実がウリに似ているため、木になるウリ(木瓜)の音読みのモッカが転じてボケと呼ばれるようになったというのが通説である。

ホワイトリカーなどで漬け込んだ果実酒は、風邪予防、滋養強壮などの効果があるといわれ、公園では、事務所側から梅林に上がる階段脇に植栽されている。



栄区ならではのおもてなしモデルプランで外国の人たちが来園



来年の東京オリンピック、パラリンピックに訪れるインバウンドを栄区ならではのおもてなしで歓迎しようという企画のモデルプラン第1回が2月6日に行われました。9人の想定インバウンドの人たちがふじやま公園で、こけ玉作りとお茶席を体験したり、ひな飾りを見学して日本情緒を味わっていただきました。

『いろいろ雑記』 から (原文のまま)

◆ 釘かくしなども立派で、大変良い古民家ですね。ぶらっと立ち寄ったのですが良い物がみられました。

どなたが花を活けていらっしゃるのでしょうか? とても見事です。

お花があるだけで 建物が生き生きしてきます。

(そこに人の営みがある感じが出てくるようです。) 県外 40代 ひとりで



平成31年3月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	2日(土)	古民家歴史部会 部会	10日(日)
農芸部会 部会	11日(月)	古文書解読勉強会	3日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	6日(水)
里山部会 作業	9日(土) 16日(土)	クリーンアップ	5日(火) 19日(火)
	17日(日) 24日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	27日(水)	ふじやまだより編集会議	7日(木)
子ども工作準備	適時	印刷	12日(火)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	30日(土)

各種のボランティア活動に参加しませんか。 お問合せは公園事務所(TEL 045-896-0590)へ。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限 定員
初心者茶道体験教室	3月17日(日) 13時～16時	茶道を通じて和の心を 学びましょう	500円	3月9日(土) 10名
絵手紙 (全4回)	4月9日(火) 16日(火) 5月14日(火) 21日(火) 13時～16時	はがき絵の基本を学び、日常 的な身近なものや風景を画い てみましょう	600円	3月25日(月) 10名
粘土工芸 香り漂う花籠 (全2回)	4月11日(木) 25日(木) 13時～15時	石鹼を使い、その香りと軽量 粘土の花と融合した花籠を 作ります	1,000円	3月26日(火) 10名
押し花絵 春の森	4月12日(金) 13時～15時	景色をパステルでデザインし て春の森の風景に仕上げます	1,500円	4月5日(金) 5名
簡単デコパージュ	4月23日(火) 13時～15時	オリジナルIDホルダー作り	600円	4月12日(金) 5名
フラワーアレンジメント	4月26日(金) 13時～15時	春の花	2,000円	4月8日(月) 8名

- (1) 応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ
(2) 応募者多数のときは抽選 (3) 持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

- ★ いろり端むかし話の会 語るもよし、聞くもよし、むかし話をお楽しみましょう
日 時：3月21日(木) 10時30分～11時30分
場 所：古民家主屋いろり端 定 員：15名 当日参加自由 無料
- ★ お花見会 大島桜の下で各種演芸と出店を予定しています
日 時：4月6日(土) 10時～12時(雨天中止)
場 所：古民家前庭
- ★ 竹林整備(筍掘り) 公園内の不用な竹(筍)を処分し、竹林を整備し、筍は持帰ります
日 時：4月14日(日) 10時～12時(雨天中止)
場 所：公園内の竹林 炭焼き広場
定 員：100名(小学生以上) 参加費：無料
申込み：往復ハガキで 締切：3月22日(金) 応募者多数の場合は抽選
- ★ 歴史探訪 5月までの予定コースと集合地は次の通りです。スタートは9時50分です。
第135回 3月6日(水) 神奈川区 白楽～豊頭寺市民の森歴史と緑の散歩道コース
東横線白楽駅改札口
第136回 4月3日(水) 都筑区 都筑区歴史散策コース 地下鉄センター北駅改札口
第137回 5月1日(水) 旭区 水道橋と帷子川の源流探訪コース 相鉄線鶴ヶ峰駅改札口
- ★ ふじやま公園来園者数 1月来園者数 1,603名 30年度累計 16,221名

・開 館 時 間： 9時～17時
・入 館 料： 無 料
・休 館 日： 毎月第一水曜日(3月6日)
・ク リ ー ン ア ッ プ： 毎月第1、3火曜日(3月5日 19日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593